



学園だより



准看護学科1年生57名は、9月14日（月）から基礎看護実習Ⅰを開始しました。初めての病院実習で初日は緊張感一杯でしたが、病棟の指導者やスタッフの優しい声掛けで安心し、笑顔で患者さんとコミュニケーションがとれるようになりました。実習指導者と行動を共にしながら、看護場面を通して看護者としての基本的態度を学んでいきます。2年生は、学内において助産師の指導の下、母子看護実習Ⅰを実施しています。妊婦体験セットを装着しての妊婦疑似体験やモデル人形を使用しての新生児バイタルサイン測定、沐浴などの体験を通して学びを深めています。

【母子看護実習Ⅰ】



<トラウベ聴診器での心音聴取>



<新生児バイタルサイン測定>



<沐浴>

看護学科1年生は、9月30日（水）から10月9日（金）の期間で小児看護学実習Ⅰを行いました。小児看護学実習Ⅰでは、1) 乳幼児期の身体的・精神的・社会的特徴がわかる、2) 健康な乳幼児の保護や援助のあり方がわかるという2つの目標をもって実習に臨みました。学生は、保育所・保育園などで実習を行い、子どもの安全・安楽に配慮しつつ遊ぶことで、発達段階に応じた基本的生活習慣への援助を学びました。また、実習場面と座学で学んだ発達理論を結び付け、学びを深めていました。学生の記録には、

「母親や先生が子どものすることすべてを手伝うのは簡単だが、子どもの喜びやもっと上手になりたいなどの気持ちを育むためには、時間がかかっても個人に合わせて見守ることが大切である。」「幼児期のコミュニケーション能力や社会性を身につけることは学童期に向けて重要であり、子どものもつ能力を引き出し伸ばすことができるよう関わる必要がある。」「口論などの時は子どもの思いをよく聞き、上手に表現できない場合は代弁し、解決を目指すことを重要と考えるが、この点は、看護における傾聴することに通じるものがある。」などの学びが記載されていました。今回の実習は、小児看護学実習Ⅱ（疾患をもつ乳幼児への看護展開）につながる学びになりました。



11月9日（月）に令和3年度の推薦入学試験が実施されました。下記にその状況をご報告します。

	受験者数	合格者数
准看護学科	10名	9名
看護学科	18名	18名

<行事予定>

12/19（土）オープンキャンパス

准 中高生の部 10:00～ 14:00～

社会人の部 14:00～ 16:00～

看 10:00～ 14:00～ 16:00～

12/24（木）**准** 戴帽式

1/4（月）～ 8（金）一般入学試験願書受付

1/16（土）看護研修会次年度企画委員会

2/6（土）一般入学試験(学科)

2/7（日）一般入学試験(面接)

2/9（火）一般入学試験合格発表

2/14（日）**看** 第110回看護師国家試験

2/16（火）**准** 令和3年富山県准看護師試験

2/22（月）一般入学手続き締め切り